

平成27年度

仙北市

「全国学力・学習状況調査」

結果分析・改善

報告書

平成27年 11月

仙北市教育委員会

I 報告書の作成にあたって

本報告書の作成にあたっては、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成することに特に留意した。

報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

（結果の公表）

第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

（改善策の立案）

第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教

育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

II 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

2 実施主体 文部科学省

3 参加主体 市町村教育委員会

4 調査の対象

【小学校調査】

- ・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

【中学校調査】

- ・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

5 調査事項及び手法

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕

国語、算数・数学はそれぞれ「主として『知識』に関する問題」(A)と「主として『活用』に関する問題」(B)を出題。

理科は「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」を一体的に出題。

i) 主として知識に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

ii) 主として活用に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的教育条件の整備の

状況等に関する質問紙調査を実施

- 6 調査の方式 悉皆調査
 7 調査期日 平成27年4月21日(火)

8 4月21日に調査を実施した児童生徒数・学校数

小学校児童数	児童数(人)					
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	質問紙
全国(国公立)	1,074,670	1,074,500	1,074,707	1,074,467	1,074,194	1,082,202
全国(公立)	1,061,264	1,061,093	1,061,301	1,061,063	1,060,792	1,068,428
秋田県(公立)	7,669	7,668	7,669	7,667	7,667	7,669
仙北市教育委員会	208	208	208	208	208	208

中学校生徒数	生徒数(人)					
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	質問紙
全国(国公立)	1,056,612	1,056,743	1,056,921	1,056,741	1,056,754	1,062,890
全国(公立)	1,016,451	1,016,575	1,016,737	1,016,548	1,016,572	1,022,112
秋田県(公立)	8,166	8,163	8,165	8,162	8,160	8,166
仙北市教育委員会	195	195	195	195	194	194

調査実施校数	4月21日に調査を実施した小学校、 特別支援学校小学部	4月21日に調査を実施した中学校、 中等教育学校 特別支援学校中学部
全国(公立)	20,022校	9,718校
全国(国立)	75校	80校
全国(私立)	115校	354校
合計	20,212校	10,152校
秋田県(国公立)	213校	119校
仙北市教育委員会	7校	5校

Ⅲ 結果

- ※ 本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科であり、また、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない。従って、本調査の結果については児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校等における教育活動の一側面にすぎないことに留意する必要がある。
- ※ 「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第2条に基づき、教科に関する調査結果の数値による公表は行わない。〈表2〉の階層区分と表現による公表としている。

1 教科に関する調査の結果

(1) 概要

本調査における全国調査校（以下、全国）及び秋田県調査校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市調査校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれ「A：主として知識」及び「B：主として活用」の区分、ならびに小学校6年理科、中学校3年理科の区分で比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分の視点から比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

- ① 国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生の国語、算数A、理科と中学校3年生の国語、数学、理科の学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ② 国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年生、中学校3年生ともに全ての項目において仙北市が上回っている。
- ③ 特に中学校3年生理科においては、仙北市の平均正答率が全国の平均正答率を大きく上回っている。
- ④ 仙北市の平均正答率をみると、特に中学校3年生において良好な状況である。

【課題】

- ① 秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年国語A・国語B、算数A・算数B、理科、中学校3年の国語A、数学B、理科の8項目で仙北市が-0.1～-6.1の幅で下回っている。

小学校6年国語「B：主として活用」、算数「B：主として活用」において、仙北市の平均正答率と秋田県の平均正答率との差が他の項目に比べて大きい傾向にある。

- ② 小学校6年生5項目の正答率の平均、並びに中学校3年生5項目の正答率の平均を全国と仙北市で経年変化として比較した場合、〈グラフ1〉にあるように、小学校6年生では仙北市が上回っている部分が減少傾向にあるが、中学校3年生では仙北市が上回っている部分が増加傾向にある。

〈表1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科・問題別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年生	国語A:主として知識	全国(公立)	70.0%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	76.0%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	65.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	76.4%	概ね満足できる状況
	算数A:主として知識	全国(公立)	75.2%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	81.2%	概ね満足できる状況
算数B:主として活用	全国(公立)	45.0%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	51.5%	改善が必要な状況	
理科	全国(公立)	60.8%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	66.7%	概ね満足できる状況	
中学校 3年生	国語A:主として知識	全国(公立)	75.8%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	80.8%	概ね満足できる状況
	国語B:主として活用	全国(公立)	65.8%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	70.7%	概ね満足できる状況
	数学A:主として知識	全国(公立)	64.4%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	68.4%	概ね満足できる状況
数学B:主として活用	全国(公立)	41.6%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	46.9%	概ね満足できる状況	
理科	全国(公立)	53.0%	十分満足できる状況	
	秋田県(公立)	59.6%	概ね満足できる状況	

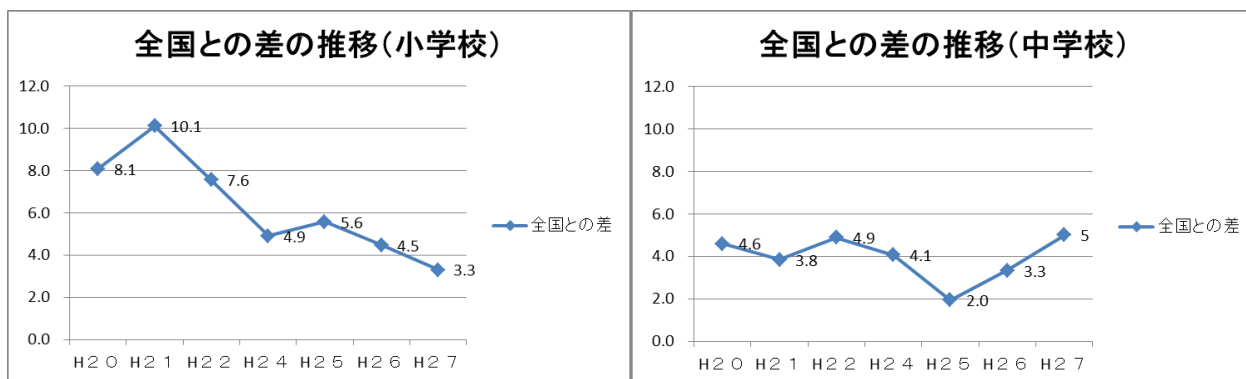
※〈表1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表2〉の表現にしたがって示した。

〈表2〉：〈表1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	概ね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第3条（別表2）による。

〈グラフ1〉：全国と仙北市との平均正答率の差の推移



(2) 設問分類・区分別集計結果から

本調査における全国及び秋田県の「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」別の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

【成果】

① 〈表3-(1)〉～〈表3-(10)〉にあるように、「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較してみると、小学校6年、中学校3年ともに国語、算数・数学、理科の全ての項目において、「概ね満足できる状況」あるいは「十分満足できる状況」である。

②同様に全国の平均正答率と仙北市の比較からは以下のことが言える。

- ア) 「小学校6年国語B」では、「学習指導要領の領域」の2区分、「評価の観点」の3区分、「問題形式」の3区分の計8区分のうち、4区分が「十分満足できる状況」である。
- イ) 「小学校6年算数B」では、10区分のうち、1区分が「十分満足できる状況」である。
- ウ) 「小学校6年理科」では、12区分のうち、1区分が「十分満足できる状況」である。
- エ) 「中学校3年国語A」では、10区分のうち、3区分が「十分満足できる状況」である。
- オ) 「中学校3年国語B」では、9区分のうち、3区分が「十分満足できる状況」である。
- カ) 「中学校3年数学A」では、8区分のうち、1区分が「十分満足できる状況」である。
- キ) 「中学校3年数学B」では、9区分のうち、3区分が「十分満足できる状況」である。
- ク) 「中学校3年理科」では、12区分のうち、9区分が「十分満足できる状況」である。

③仙北市の状況の中で小学校6年については以下のことが言える。

- ア) 「国語」については、「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」の「書

くこと」が、「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」が、「問題形式」の「記述式」が良好な状況である。

イ) 「算数」については、「B：主として活用」において「評価の観点」の「数量や図形についての技能」が良好な状況である。

ウ) 「理科」については、「学習指導要領の領域」の「生命」が良好な状況である。

④仙北市の状況の中で中学校3年については以下のことが言える。

ア) 「国語」については、「A：主として知識」において「学習指導要領の領域」の「書くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「書く能力」「読む能力」が良好な状況である。また、「B：主として活用」において、「学習指導要領の領域」の「読むこと」が、「評価の観点」の「読む能力」が、「問題形式」の「選択式」がそれぞれ良好な状況である。

イ) 「数学」については、「A：主として知識」において「学習指導要領の領域」の「図形」「関数」「資料の活用」が、「評価の観点」「問題形式」の全ての項目が良好な状況である。また、「B：主として活用」では、「学習指導要領の領域」の「関数」「資料の活用」が、「評価の観点」の「数学的な技能」が、「問題形式」の「選択式」が良好な状況である。

ウ) 理科については、全体的に良好な状況である。特に、知識・理解に関する部分が良好である。

【課題】

①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から比較した場合、次のような課題がある。

ア) 小学校6年「国語」「A：主として知識」において「学習指導要領の領域」の「話すこと・聞くこと」が、「評価の観点」の「話す・聞く能力」が、「B：主として活用」において「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」が、「問題形式」の「記述式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

イ) 小学校6年「算数」「B：主として活用」において「学習指導要領の領域」の「量と測定」「図形」「数量関係」が、「評価の観点」の「数学的な考え方」が、「問題形式」の「記述式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

ウ) 小学校6年「理科」において「問題形式」の「短答式」「記述式」が、「改善が必要な状況」であり課題がある。

〈表3- (1)〉：「小学校6年国語A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	話すこと・聞くこと	1	60.3	53.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書くこと	1	89.4	86.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	4	61.9	55.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	83.2	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	1	60.3	53.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書く能力	1	89.4	86.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	4	61.9	55.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	9	83.2	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	7	74.0	66.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	7	78.1	73.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表3- (2)〉：「小学校6年国語B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	話すこと・聞くこと	0				
	書くこと	6	73.7	61.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	6	79.5	68.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0				
評価 の 観点	国語への関心・意欲・態度	4	71.1	55.4	改善が必要な状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	0				
	書く能力	6	73.7	61.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	6	79.5	68.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0				
問題 形式	選択式	3	76.5	68.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	2	87.1	80.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	4	71.1	55.4	改善が必要な状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (3)〉 : 「小学校 6 算数 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	数と計算	7	86.8	80.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	3	78.3	71.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	4	69.5	64.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	2	89.2	84.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	0				
	数量や図形についての技能	7	83.4	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	9	79.4	73.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	5	76.7	70.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	11	83.3	77.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (4)〉 : 「小学校 6 算数 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	数と計算	4	49.8	42.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	3	47.1	41.7	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	図形	7	51.7	45.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量関係	3	49.4	43.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評価 観点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	9	41.0	35.3	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての技能	2	69.6	58.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	2	81.1	74.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	3	75.6	70.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	5	50.3	42.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	38.4	32.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (5)〉 : 「小学校 6 理科」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
問題	主として「知識」に関する問題	9	67.6	61.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	主として「活用」に関する問題	15	66.1	60.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
指導 領域	物質	7	63.0	57.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	エネルギー	6	72.1	65.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	生命	6	67.8	61.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	地球	7	63.0	57.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観 点	自然事象への関心・意欲・態度	0				
	科学的な思考・表現	15	66.1	60.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	観察・実験の技能	5	61.8	55.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	自然事象についての知識・理解	4	74.9	68.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	18	67.6	62.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	3	75.9	63.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	52.1	45.3	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (6)〉 : 「中学校 3 国語 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	話すこと・聞くこと	4	84.5	79.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	5	80.2	73.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	5	89.9	86.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	77.8	72.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観 点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	4	84.5	79.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	5	80.2	73.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	5	89.9	86.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	19	77.8	72.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	23	79.7	75.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	10	83.3	76.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (7)〉 : 「中学校 3 年国語 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	話すこと・聞くこと	3	76.5	72.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	3	41.7	36.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読むこと	6	67.8	62.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0				
観点	国語への関心・意欲・態度	3	41.7	36.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	話す・聞く能力	3	76.5	72.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	3	41.7	36.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	読む能力	6	67.8	62.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0				
問題形式	選択式	6	85.2	80.3	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	0				
	記述式	3	41.7	36.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (8)〉 : 「中学校 3 年数学 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導領域	数と式	1 2	70.8	67.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	1 2	67.9	63.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	8	65.0	61.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	4	69.7	63.0	十分満足できる状況	十分満足できる状況
観点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	0				
	数学的な技能	1 7	68.6	65.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	1 9	68.3	63.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題形式	選択式	1 9	68.5	64.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	1 7	68.4	64.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (9)〉 : 「中学校 3 年数学 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導 領域	数と式	4	70.3	63.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	4	44.1	39.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	関数	5	33.7	30.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	資料の活用	2	38.7	31.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
評価 の 観 点	数学への関心・意欲・態度	0	/	/	/	/
	数学的な見方や考え方	13	47.7	42.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数学的な技能	2	41.6	34.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	0	/	/	/	/
問題 形式	選択式	4	49.9	47.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	4	53.1	47.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	7	41.6	34.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (1 0)〉 : 「中学校 3 理科」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答率 (公立)%	全国平均正答率 (公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
問題	主として「知識」に関する問題	7	70.7	63.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	主として「活用」に関する問題	18	55.3	48.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
指導 領域	物理的領域	7	54.9	48.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	化学的領域	7	62.6	56.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	生物的領域	6	70.9	62.2	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	地学的領域	6	51.2	46.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観 点	自然事象への関心・意欲・態度	0	/	/	/	/
	科学的な思考・表現	18	55.3	48.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	観察・実験の技能	2	53.1	46.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	自然事象についての知識・理解	5	77.7	70.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
問題 形式	選択式	16	58.2	53.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	4	70.8	61.6	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	5	55.0	45.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況

(3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものについて示す。

①小学校6年「国語」A:主として知識について

ア) 「設問番号3」 「聞き方の説明として適切なものを選択する」では、「話の内容に対する聞き方を工夫する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」、「評価の観点」では「話す・聞く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号5二」 「コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く」では、「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 漢字の読み書きは一定程度身につけていると判断できるが、故事成語・慣用句等の言語文化については改善すべき課題となっている。
- ◆ 表現の工夫(例えば、書き出し・引用・事実・意見など)に着目して、文章の特徴や筆者の考えを捉えることについては、特に改善しなければならない課題となっている。

②小学校6年「国語」B:主として活用について

ア) 「設問番号1三」 「【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容のまとめを書く」では、「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2二」 「【文章】の要旨をまとめて書く」では、「目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号2三」 「楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く」では、「文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 特に目的や意図に応じて文章を書いたり、文章と図などを関係付けて自分の考えをまとめたりすることについては改善しなければならない課題がある。

③小学校6年「算数」A:主として知識について

ア) 「設問番号3」 「午後3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号4(2)」 「分度器の目盛りを読み、 180° より大きい角の大きさを求める」では、「 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号5(1)」 「円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ」では、「示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる性質を、選択することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号5(2)」 「円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める」では、「円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 式を立てたり計算したりということについては、一定程度の力が身につけているが、図形に関する内容については解決すべき課題がある。
- ◆ 特に図形の性質を基に、角の大きさや辺の長さを求めることは、それぞれを関係付けて考えることが求められ、改善を要する課題となっている。

④小学校6年「算数」B:主として活用について

ア) 「設問番号1(3)」 「二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く」では「示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号2(2)」 「20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く」では「示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号3(1)」 「周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれどの目盛りのところを持てばよいかを書く」では「正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号3(2)」 「合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、⑦の角が 30° になるわけを書く」では「正三角形の性質や合同な三角形を基に、⑦の角が 30° になる理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

オ) 「設問番号4(2)」 「切り上げて計算した結果が10000であることから分かることを選ぶ」では「切り上げた場合の見積もりの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

カ) 「設問番号4(3)」 「目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く」では「概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

キ) 「設問番号5(1)」 「示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く」では「長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ク) 「設問番号5(2)」 「示された図形の色がついた部分の面積を求める」では「条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

◆ 特に、数学的思考やその表現に課題がある。

⑤ 小学校6年「理科」について

ア) 「設問番号2(5)」 「インゲンマメやヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く」では、「植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「生命」「地球」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号3(4)」 「示された器具(メスシリンダー)の名称を書く」では、「メスシリンダーの名称を理解している」に課題がある。

この設問は主として知識に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「物質」、「評価の観点」では「観察・実験の技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分

される設問である。

ウ) 「設問番号 3 (6)」 「水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く」では、「析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「物質」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号 4 (1)」 「方位についての情報から、観察している方位を選ぶ」では、「方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「地球」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ) 「設問番号 4 (3)」 「星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ」では、「星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている」に課題がある。

この設問は主として知識に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「地球」、「評価の観点」では「観察・実験の技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆観察・実験に用いる器具について、器具によって名称を理解したり、適切に操作したりすることに偏りがあり、課題がある。
- ◆観察・実験の結果を根拠として考えたり、現象について別の視点から説明したりすることに課題がある。

⑥中学校3年「国語」A:主として知識について

ア) 「設問番号 3 一」 「用いられている表現の工夫として適切なものを選択する」では、「表現の技法について理解する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語に関する知識・理解・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 9 三エ・オ」 「適切な語句を選択する（彼女は、学級の縁の下の力持ちといえる存在だ）（たなびく雲の間から、春の光がもれている）」では、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号 9 四①・②」 「『青い』と『青さ』の品詞として適切なものを選択する」では、「単語の類別について理解する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「選

択式」に分類・区分される設問である。

◆ 文脈の中での語句の使い方、場面に適した語句の使い方等に課題がある。

⑦中学校3年「国語」**B:主として活用**について

ア) 「設問番号 2 三」 「資料を参考にして 2020 年の日本の社会を予想し、その社会にどのように関わっていききたいか、自分の考えを書く」では、「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 3 三」 「文章の最後の一文があった方がよいかどうかについて、話の展開を取り上げて自分の考えを書く」では、「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」「読むこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

◆ 複数の資料から得た情報を関連付けて考えた上で、自分の立場を明確にすること、すなわち多様な情報を関連付けて読み、それを基に自分の考えを書くことに課題がある。

⑧中学校3年「数学」**A:主として知識**について

ア) 「設問番号 2 (2)」 「赤いテープの長さが a cm で、白いテープの長さの $\frac{3}{5}$ 倍のとき、白いテープの長さを a を用いた式で表す」では「数量の関係を文字式に表すことができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 3 (3)」 「連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を表した式を選ぶ」では「具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と式」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号 4 (2)」 「 $\triangle ABC$ を、矢印の方向に 4 cm 平行移動した図形をかく」では「平行移動した図形をかくことができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数学的な技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号 8」 「対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ」では「証明

の必要性と意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ) 「設問番号 1 3」 「二元一次方程式 $x + y = 3$ の解を座標とする点の集合として正しいものを選ぶ」では「二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数量や図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 数量の関係を捉え、文字式に表すことや証明の必要性や意味、「点の集合が直線で表される」など数学的な技能や知識の理解に課題がある。

⑨ 中学校3年「数学」 「B:主として活用」について

ア) 「設問番号 1 (2)」 「投映画面がスクリーンに収まり、できるだけ大きく映し出すことができる投映距離を選ぶ」では「必要な情報を選択して的確に処理し、その結果を事象に即して解釈することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 1 (3)」 「映像の明るさを2倍にするための投映画面の面積の変え方を選び、その理由を説明する」では「事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「関数」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 問題の場面において、情報を的確に読み取り、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

⑩ 中学校3年「理科」について

ア) 「設問番号 1 (2)」 「同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと硫酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるか選ぶ」では、「実験の結果を分析して解釈し、炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「化学的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ) 「設問番号 2 (3)」 「湿った空気が斜面に沿って上昇してできる雲について、その

成因を説明した他者の考えを検討して、誤っているところを改善する」では、「他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「地学的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ) 「設問番号3(2)」 「上空と地上の気温差による降水量の違いを調べる装置として適切なものを選ぶ」では、「一定の時間に多くの雨が降る原因を探る実験を計画することができる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「地学的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ) 「設問番号6(2)」 「音の高さは、空気の部分の長さに関係しているという仮説が正しい場合得られる結果を予想して選ぶ」では、「音の高さは、『空気の部分の長さ』に関係していることを確かめる実験を計画することができる」に課題がある。

この設問は主として活用に関わる問題であり、「学習指導要領の領域」では「物理的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

- ◆ 予想や仮説に対応する実験を計画したり、観察・実験の結果について検討し改善したりすることに課題がある。特に、複数の結果や資料等を基にそれらを関連付けて考えることに課題がある。

2 児童生徒質問紙調査の結果

(1) 概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。
 全国及び秋田県との状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、若干の課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向にあると言える。

特に「学習に対する意欲・学習の有用感」「規範意識・礼儀・思いやり・他者意識」「基本的生活習慣・基本的学習習慣」に望ましい傾向があるといえる。

(2) 小学校6年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

小学校6年生の質問事項87項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市児童の肯定的な傾向率90%以上
1	(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	99.1
2	(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	98.5
3	(21)	家で、学校の宿題をしていますか	97.6
4	(1)	朝食を毎日食べていますか	97.1
5	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.6
6	(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	95.2
7	(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.2
8	(43)	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	95.2
9	(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	95.2
10	(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか	94.7
11	(59)	算数の勉強は大切だと思いますか	94.2
12	(41)	5年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	93.7
13	(69)	理科の勉強は好きですか	93.7
14	(78)	観察や実験を行うことは好きですか	93.7
15	(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	93.3

16	(64)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.3
17	(72)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	93.3
18	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	92.3
19	(83)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	92.3
20	(38)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	91.9
21	(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.8
22	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	90.9
23	(32)	学校のきまりを守っていますか	90.8

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 +10%以上	秋田県との比較
1	(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	+31.1	-4.6
2	(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	+14.6	-1.7
3	(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	+14.1	+1.6
4	(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	+13.4	-1.5
5	(42)	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	+13.1	-2.1
6	(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	+11.3	-4.7
7	(69)	理科の勉強は好きですか	+10.2	+2.7

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較 +3%以上
1	(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	+3.8
2	(87)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	+3.6

(3) 小学校6年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

小学校6年生の質問事項87項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合(質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合)が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市児童の 肯定的な回答 率75%未満
1	(30)	新聞を読んでいますか	24.0
2	(75)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	27.4
3	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	44.7
4	(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	44.7
5	(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	50.0
6	(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	62.9
7	(84)	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	62.9
8	(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	64.4
9	(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	67.8
10	(48)	国語の勉強は好きですか	68.2
11	(63)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.3
12	(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	69.2
13	(51)	読書は好きですか	69.7
14	(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	70.7

15	(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	70.7
16	(58)	算数の勉強は好きですか	70.7
17	(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	72.6

※ 全国との比較から

児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 -3%以下	秋田県との比較
1	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-6.5	-13.9
2	(31)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	-4.0	-6.9
3	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-3.5	-6.2
4	(51)	読書は好きですか	-3.1	-11.1
5	(62)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	-3.1	-10.4

※ 秋田県との比較から

児童質問紙調査のうち、秋田県の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較 -3%以下
1	(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-14.1
2	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-13.9
3	(63)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	-13.7
4	(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	-12.4

5	(5 1)	読書は好きですか	-11.1
6	(6 2)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	-10.4
7	(2 2)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-10.3
8	(4 0)	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	-10.0
9	(6 1)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	-8.9
10	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	-8.0
11	(5 6)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか	-7.6
12	(7 3)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	-7.0
13	(3 1)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）	-6.9
14	(6 5)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	-6.6
15	(4 6)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-6.4
16	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-6.2
17	(7 5)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	-6.2
18	(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	-6.1
19	(6 0)	算数の授業の内容はよく分かりますか	-6.1
20	(5 7)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	-5.8
21	(5 0)	国語の授業の内容はよく分かりますか	-5.6
22	(5 4)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	-5.5
23	(7 6)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	-5.3
24	(8 1)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	-4.7
25	(2 3)	家で、学校の授業の復習をしていますか	-4.6
26	(6)	自分には、よいところがあると思いますか	-4.5
27	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	-3.4

28	(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	-3.3
29	(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	-4.2
30	(58)	算数の勉強は好きですか	-4.2
31	(66)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	-3.7
32	(39)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	-3.3
33	(67)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	-3.3
34	(70)	理科の勉強は大切だと思いますか	-3.2
35	(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-3.1
36	(48)	国語の勉強は好きですか	-3.0

- ◆ 小学校6年生において、学習への関心・意欲・態度は高いと言える。特に、宿題や復習に取り組む態度は計画的に家庭学習へ向かう姿勢につながっていると捉えられる。授業に向かう態度としては、相手の話を最後までよく聞き、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていると感じている児童が増加傾向にある。しかしながら、学んだことを活用したり発表したり説明したりすることに対しては、苦手意識を持っていると見受けられる。
- ◆ 基本的な生活習慣において、前年度との比較から、「普段(月～金曜日)、1日当たりの通話やメール、インターネットを2時間以上している」ところをみると、約3倍に増加している。同じく、「普段(月～金曜日)、1日当たりの勉強時間の2時間以上勉強している」ところは微増だが、「1時間以上勉強している」ところをみると、約10%減少している。
- ◆ 地域の行事への参加に対しては高い意識があるが、地域や社会をよくしていこうという積極さを持っている児童は半分に満たない。ニュースに対しては新聞よりもテレビやインターネットで情報を得ている。

(4) 中学校3年生にみられる望ましい傾向

※ 「肯定的回答」の値が高い質問

中学校3年生の質問事項87項目に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	仙北市生徒の肯定的な傾向率 90%以上
1	(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	99.4
2	(43)	1, 2年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	99.0
3	(82)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	99.0
4	(68)	今回の数学の問題について、言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.5
5	(41)	1, 2年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	98.4
6	(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	97.9
7	(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	97.9
8	(32)	学校の規則を守っていますか	97.9
9	(33)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	97.9
10	(21)	家で、学校の宿題をしていますか	97.4
11	(34)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.0
12	(1)	朝食を毎日食べていますか	96.9
13	(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.9
14	(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	96.4
15	(35)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.4
16	(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	96.4
17	(83)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	95.9
18	(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	94.8
19	(38)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	94.4
20	(78)	観察や実験を行うことは好きですか	94.4

21	(61)	数学ができるようになりたいと思いますか	94.3
22	(31)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	92.8
23	(59)	数学の勉強は大切だと思いますか	92.8
24	(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	92.3
25	(39)	1, 2年生のときに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	92.3
26	(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	92.2
27	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	91.7
28	(85)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	90.3
29	(42)	1, 2年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	90.2

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 +10%以上	秋田県との比較
1	(23)	家で、学校の授業の復習をしていますか	+36.7	+1.5
2	(42)	1, 2年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	+30.9	+4.9
3	(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	+26.3	+17.4
4	(43)	1, 2年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	+25.3	+4.8
5	(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	+25.0	+7.5
6	(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	+24.9	+4.1
7	(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+24.4	+7.8
8	(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立て	+24.4	+5.2

		てていますか		
9	(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	+24.4	+10.3
10	(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	+24.0	+11.0
11	(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	+22.8	+5.6
12	(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	+21.9	-4.7
13	(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	+21.5	+8.6
14	(48)	国語の勉強は好きですか	+21.4	+9.2
15	(63)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	+20.9	+8.9
16	(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	+19.3	+1.8
17	(55)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	+18.9	+3.6
18	(41)	1, 2年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	+18.7	+1.2
19	(51)	読書は好きですか	+18.2	+7.2
20	(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	+18.0	+3.8
21	(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	+17.6	+4.3
22	(40)	1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	+17.2	-0.2
23	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	+16.5	+10.6
24	(73)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	+16.0	+0.9
25	(69)	理科の勉強は好きですか	+15.9	+3.7
26	(65)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	+14.4	+7.3
27	(78)	観察や実験を行うことは好きですか	+14.3	+4.5

28	(72)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	+14.2	+3.4
29	(80)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	+14.2	-1.5
30	(39)	1, 2年生のときに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	+14.1	+0.1
31	(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	+14.0	+3.9
32	(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか	+13.8	+3.9
33	(64)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	+13.6	+5.1
34	(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	+13.1	+5.0
35	(70)	理科の勉強は大切だと思いますか	+12.7	+2.2
36	(77)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	+12.5	+0.9
37	(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	+12.2	+5.3
38	(66)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	+11.8	+2.1
39	(62)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	+11.6	+6.0
40	(71)	理科の授業の内容はよく分かりますか	+11.0	+0.8
41	(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	+10.6	+3.6
42	(9)	将来の夢や目標を持っていますか	+10.3	+1.8
43	(59)	数学の勉強は大切だと思いますか	+10.2	+3.9

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+3ポイント以上のものは次の表のとおりである。

NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較 +3%以上
1	(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	+17.4
2	(28)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	+11.0
3	(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	+10.6
4	(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	+10.3

5	(48)	国語の勉強は好きですか	+9.2
6	(63)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	+8.9
7	(74)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	+8.6
8	(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	+7.8
9	(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	+7.5
10	(65)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	+7.3
11	(51)	読書は好きですか	+7.2
12	(62)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	+6.0
13	(54)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	+5.6
14	(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	+5.5
15	(26)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	+5.3
16	(79)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	+5.2
17	(64)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	+5.1
18	(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	+5.0
19	(31)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	+5.0
20	(42)	1, 2年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	+4.9
21	(49)	国語の勉強は大切だと思いますか	+4.9
22	(43)	1, 2年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	+4.8
23	(18)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	+4.6
24	(78)	観察や実験を行うことは好きですか	+4.5
25	(36)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	+4.3
26	(53)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	+4.1

27	(25)	あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	+3.9
28	(50)	国語の授業の内容はよく分かりますか	+3.9
29	(59)	数学の勉強は大切だと思いますか	+3.9
30	(46)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていると思いますか	+3.8
31	(58)	数学の勉強は好きですか	+3.8
32	(69)	理科の勉強は好きですか	+3.7
33	(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと 思いますか	+3.6
34	(55)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気 を付けて書いていますか	+3.6
35	(87)	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	+3.6
36	(72)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	+3.4
37	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	+3.3
38	(24)	学校に行くのは楽しいと思いますか	+3.1

(5) 中学校3年生にみられる課題とされる傾向

※ 「肯定的回答」の値が低い質問

中学校3年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合(質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」、もしくは「している」と「どちらかといえば、している」、あるいは「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合)が、75%未満の質問は、以下の表のとおりである。

NO	質問 番号	質問事項	仙北市生徒の 肯定的な回答 率 75%未満
1	(30)	新聞を読んでいますか	27.3
2	(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	27.8
3	(75)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	28.9
4	(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	55.2
5	(29)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	57.3
6	(63)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えま すか	61.8

7	(58)	数学の勉強は好きですか	62.9
8	(73)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.9
9	(76)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	63.4
10	(27)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	71.1
11	(20)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	73.2
12	(81)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	74.3
13	(86)	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	74.3

※ 全国との比較から

生徒質問紙調査のうち、全国の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイントを下回るものは次の表のとおりである。(県との割合との差は参考のために示した。)

NO	質問番号	質問事項	全国との比較 -3%以下	秋田県との比較
1	(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-7.5	-15.5

※ 秋田県との比較から

生徒質問紙調査のうち、秋田県の中学校3年生の肯定的回答の割合と仙北市の中学校3年生の肯定的回答の割合を比較して、差が-3ポイント以下を下回るものは次の表のとおりである。

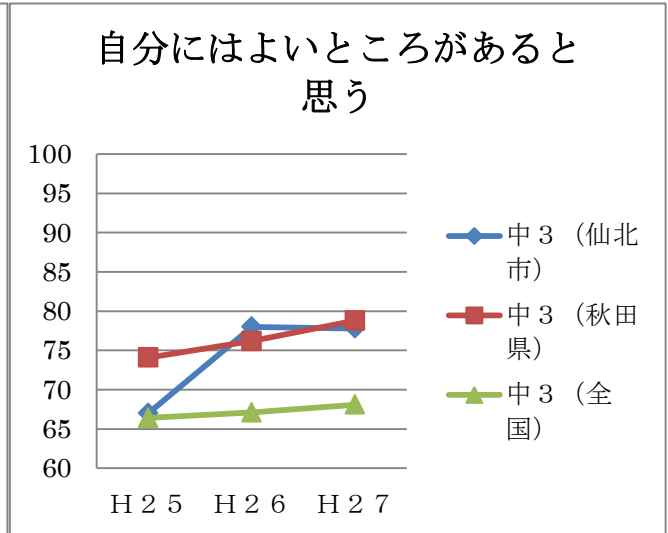
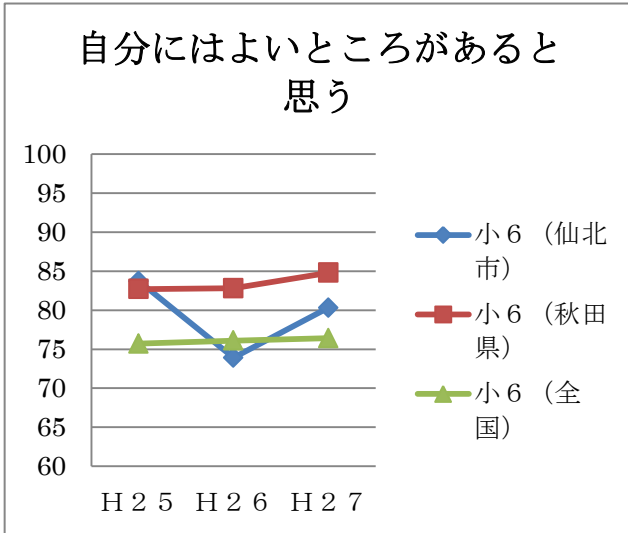
NO	質問番号	質問事項	秋田県との比較 -3%以下
1	(22)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-15.5
2	(37)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-4.7

- ◆中学校3年生において、学習に関わる項目については概ね望ましい傾向と捉えられる。意欲については、特に数学の学習に対して好意的な傾向が増加している。それは、学んだことが日常生活において活用できないか考えるというところが、前年度に比べ14ポイント増加していることにつながっていると捉えられる。また、国語においても、「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」「意見などを発表するとき、話の組み立てを工夫している」「自分の考えを書くとき、理由が分かるように気を付けている」の項目が前年度と比較して4.8～8ポイント増加している。これらは今年度の秋田県の平均回答率と比較しても4～5ポイント上回っている。
- ◆「授業の最後に振り返る活動をよく行っている」ことについては、秋田県の平均よりも4.9ポイント上回っており、前年度よりも13.6ポイント増加している。
- ◆基本的な生活習慣について、「普段(月～金曜日)に、1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしている」ところは前年度と比較すると、10.1ポイント減少している。同じく「テレビゲームやメール・インターネットを2時間以上している」ところは、ほぼ変わっていない。また、「普段(月～金曜日)に2時間以上勉強している」ところも、前年度と比較して5ポイント減少している。
- ◆地域行事への参加の意識は高い。また、地域や社会に対する関心も高く、「よりよくしたいと考えることがある」という項目に対する回答も秋田県の平均回答率より10.3ポイント上回っている。また、「新聞を読む」という項目に対する回答は低い、「ニュースをテレビやインターネットで見る」という項目のポイントは増加している。

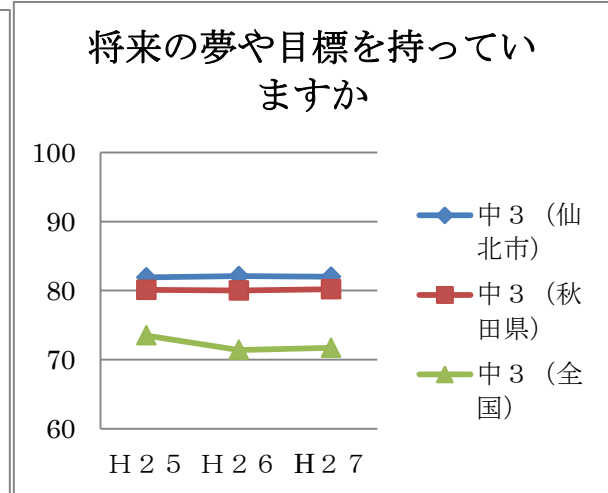
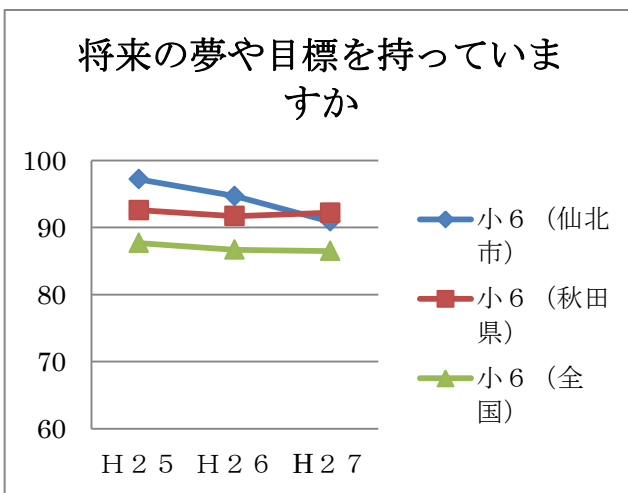
(6) 過去3年間の経年変化

「自己有用感」「学習への関心・意欲」「地域・家庭との連携」にかかわる内容について、直近3年間の経年変化を下に記す。

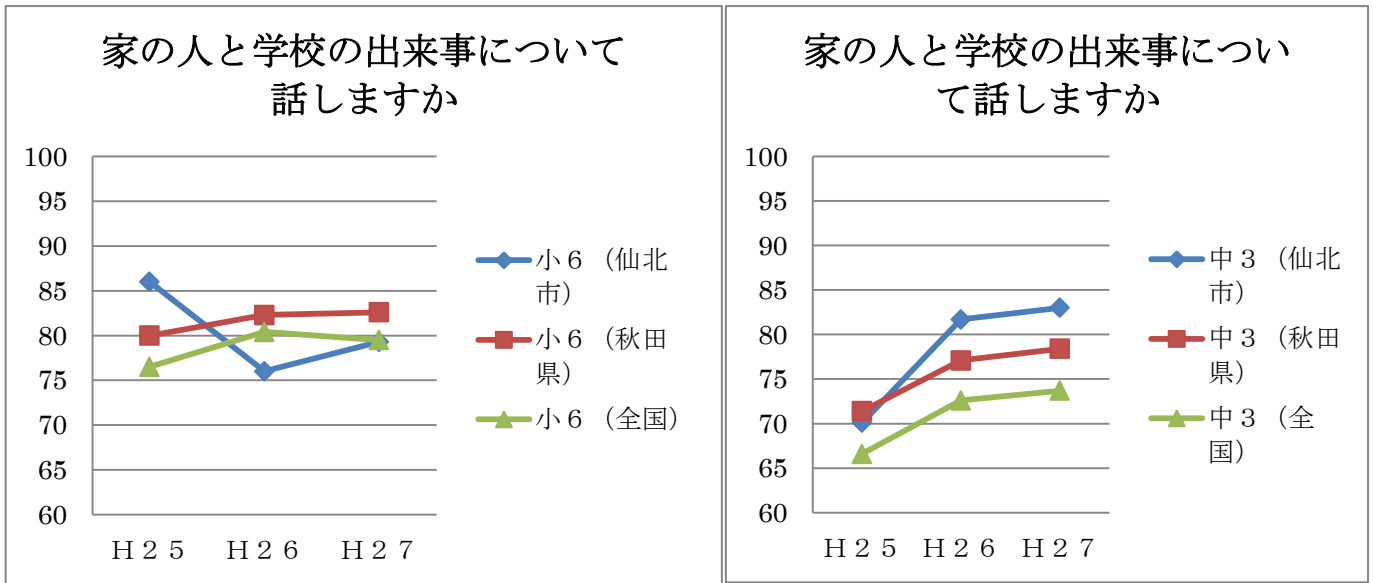
○ 自分には、よいところがあると思いますか



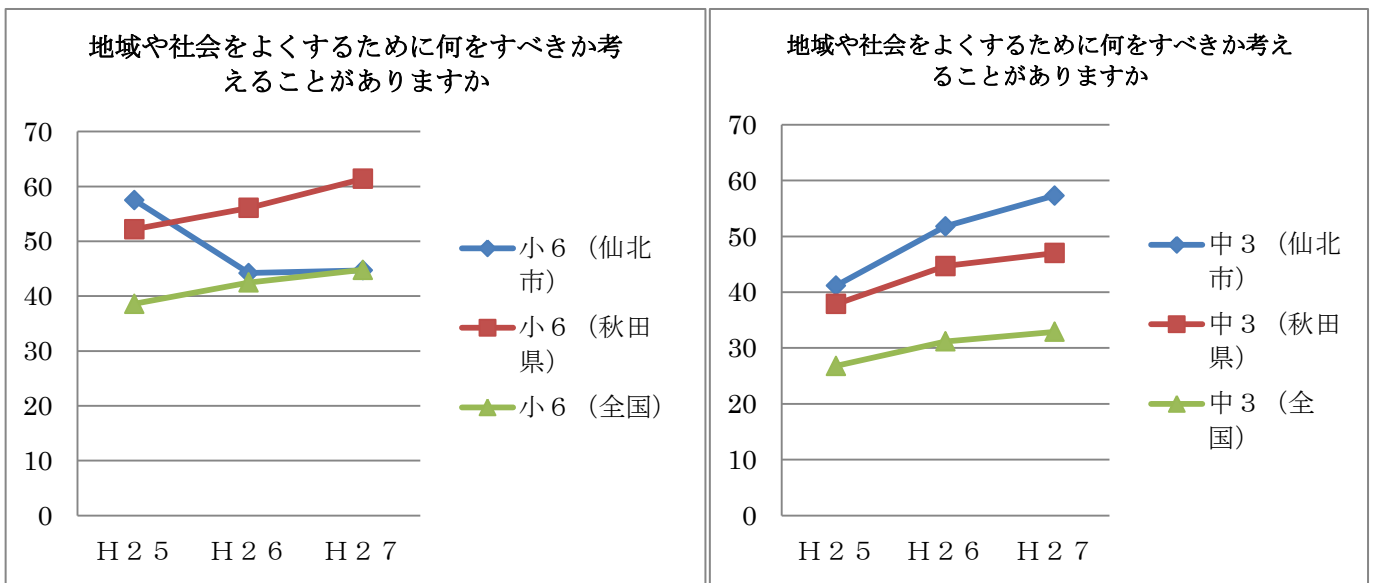
○ 将来の夢や目標を持っていますか



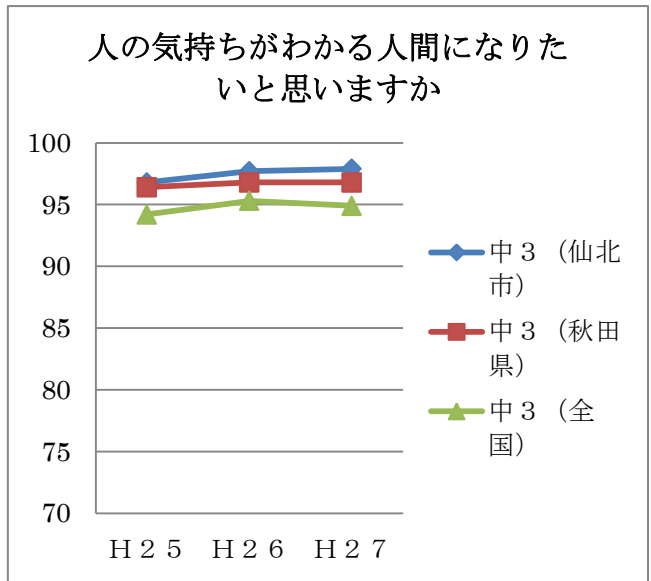
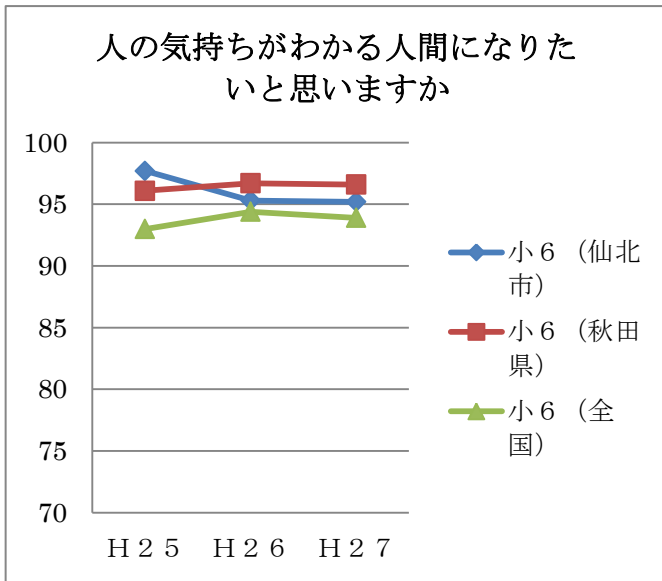
○ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



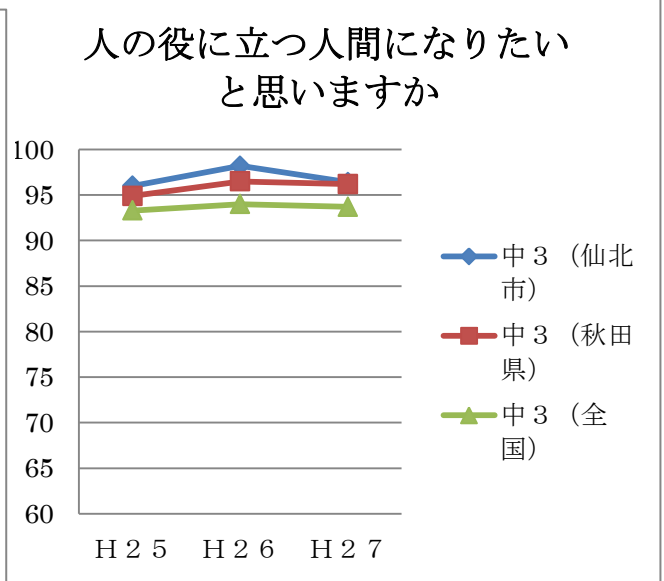
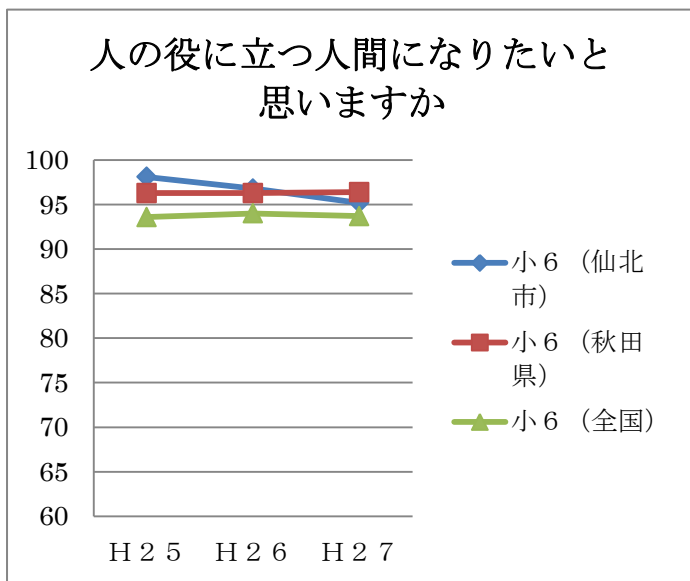
○ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



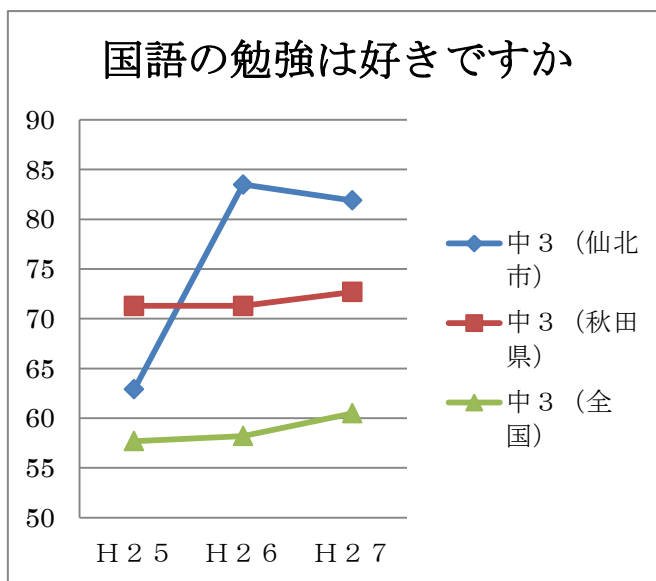
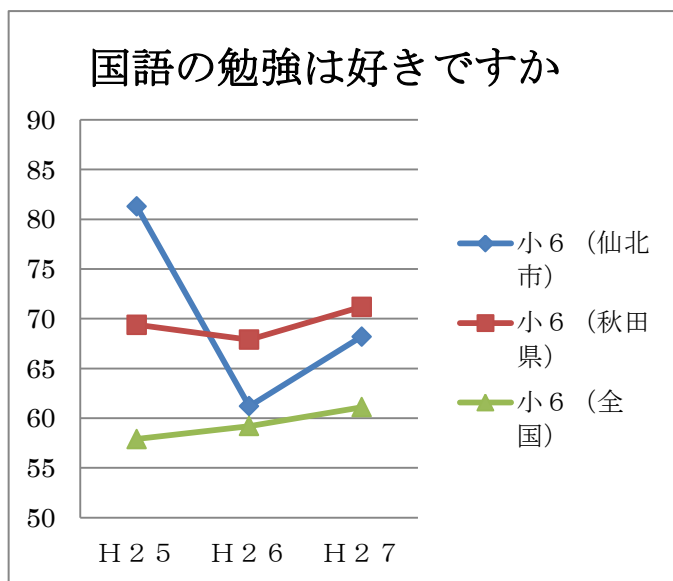
○ 人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか



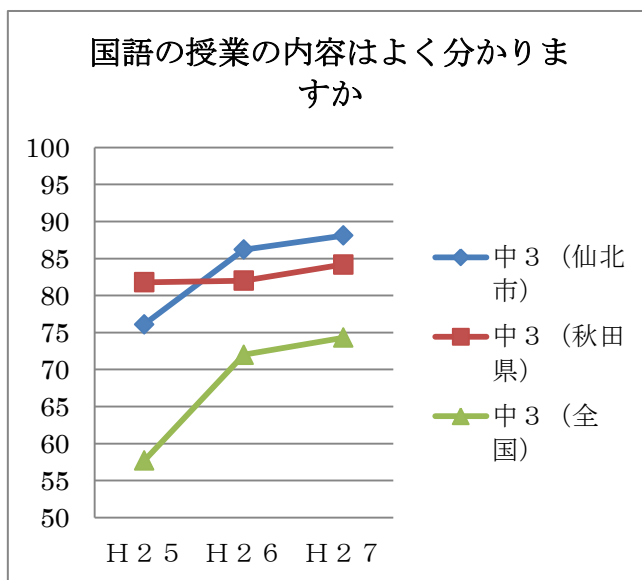
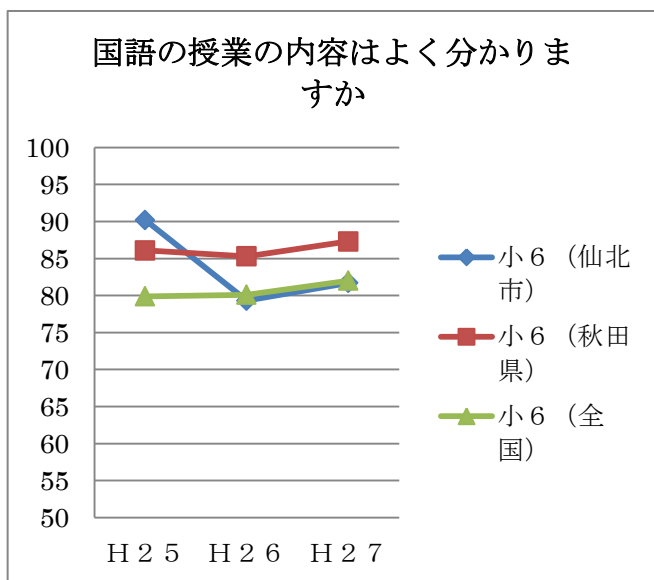
○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



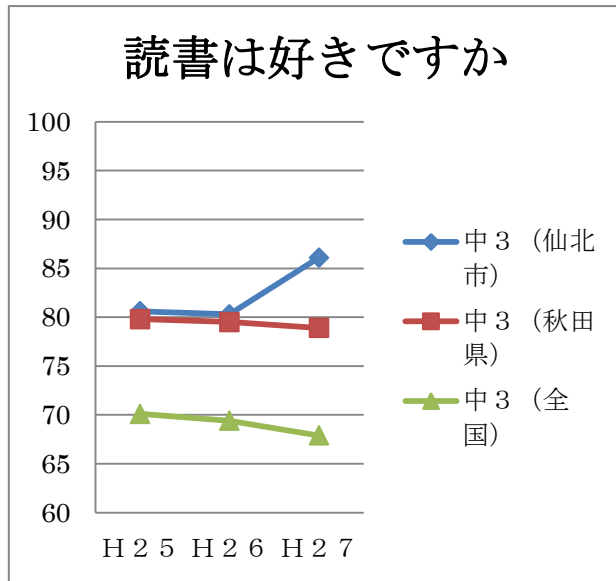
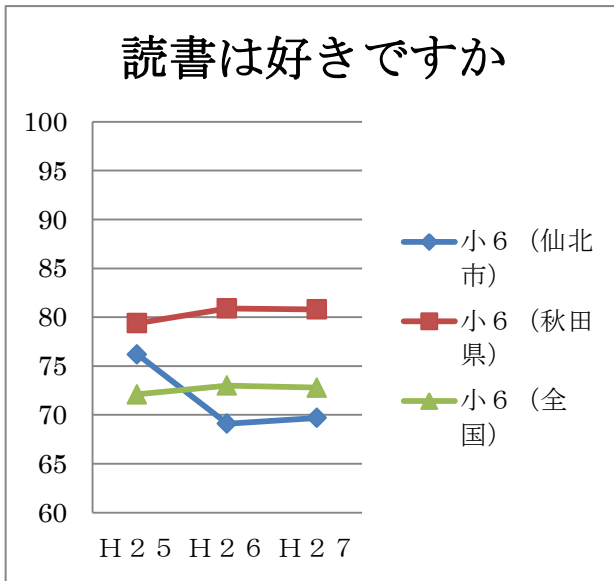
○ 国語の勉強は好きですか



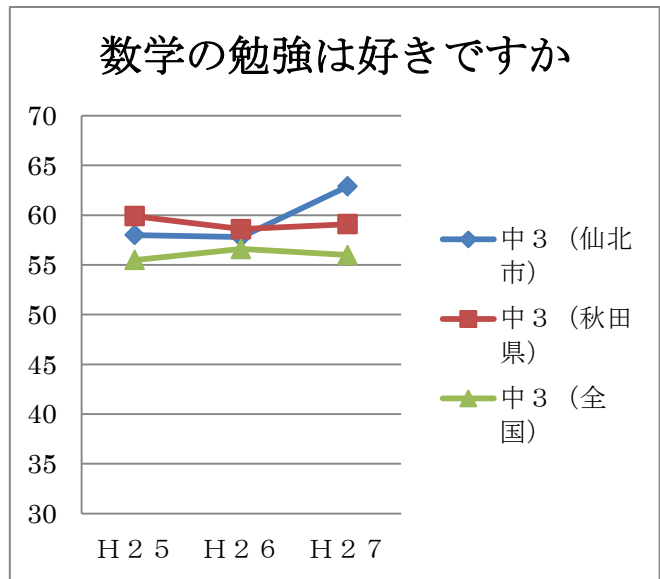
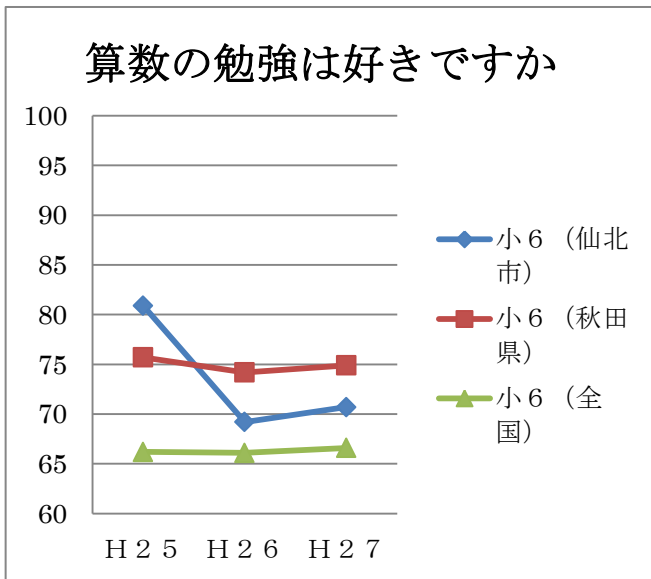
○ 国語の授業の内容はよく分かりますか



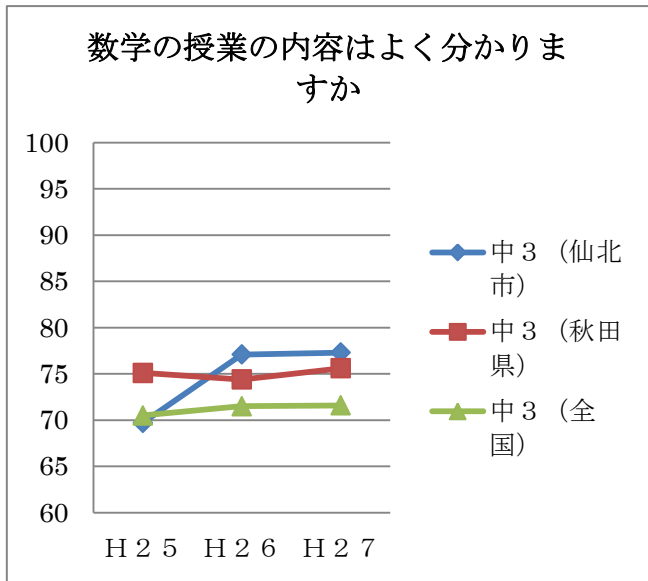
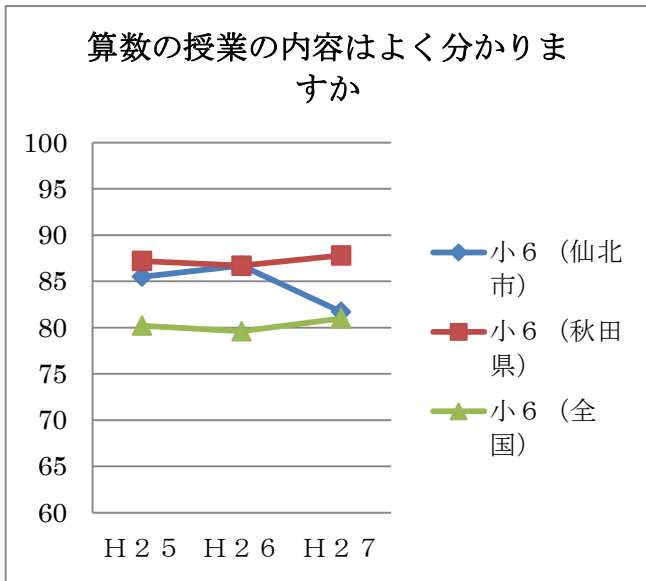
○ 読書は好きですか



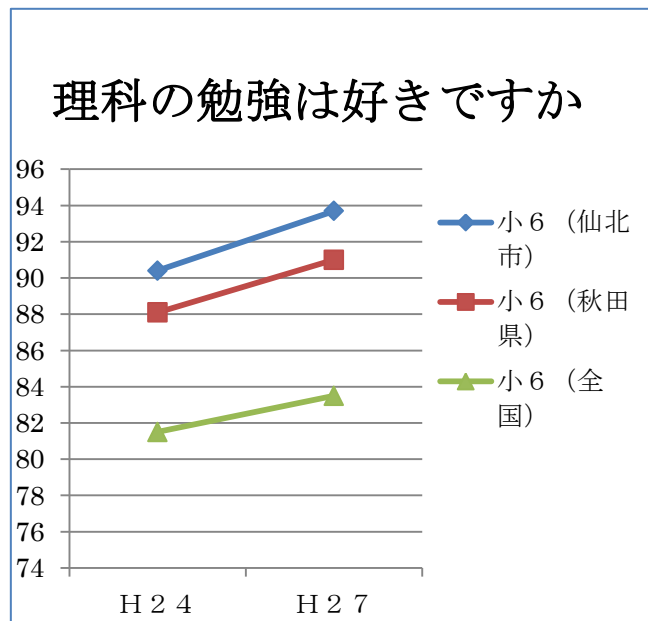
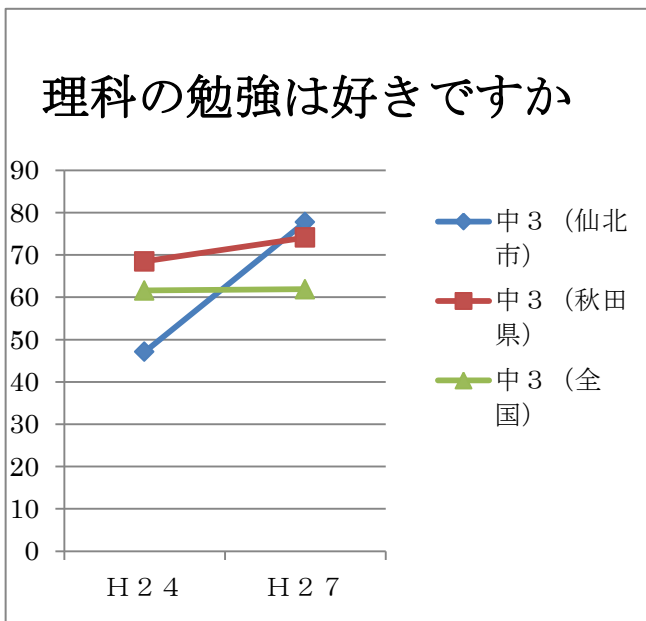
○ 算数・数学の勉強は好きですか



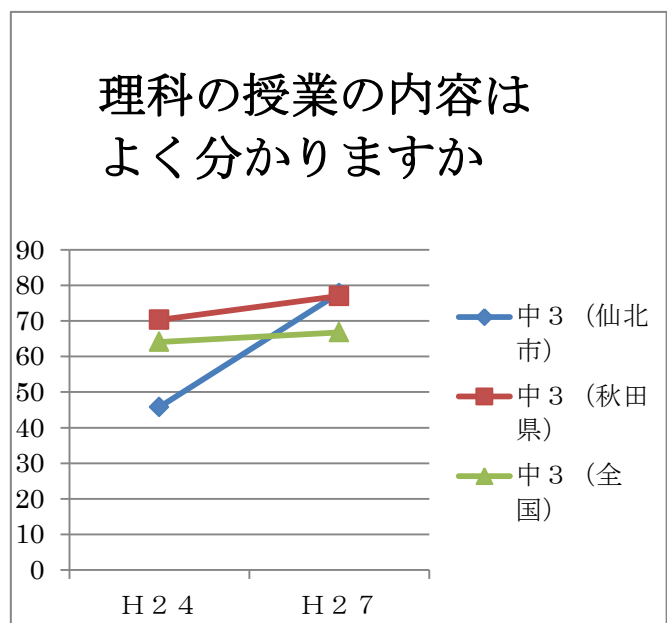
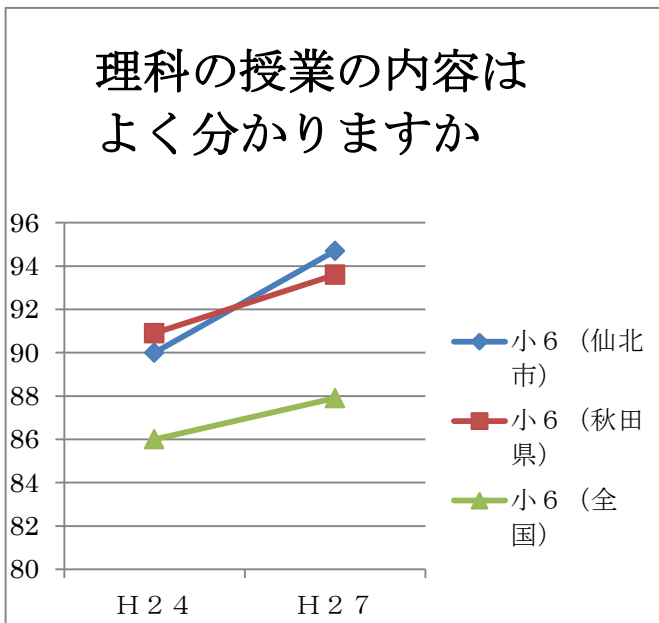
○ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



○ 理科の勉強は好きですか



○ 理科の授業の内容はよく分かりますか



IV 改善の方法

1 全体的な取組として

本委員会では、仙北市全体の状況を踏まえて、一層の確かな学力の向上と授業改善の方向性について、現在仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策をもとに意見交換を行った。

教科に関する本調査の結果で、仙北市の課題として捉えられ改善のために検討の余地があるものうちでも特徴的なものを見たとき、仙北市児童生徒の課題は次のように集約することができる。国語に関しては、故事成語・慣用句等を知識として身に付けていることを踏まえ、日常の言語生活において用いることや文脈の中や場面に応じて言葉を適切に用いることが課題として挙げられる。また、多様な情報を関連付けて読み取り、目的や意図に応じて自分の考えを書きまとめることも課題である。算数・数学に関しては、「図形」に関して、性質を基にそれぞれを関係付けて考えることや得た情報を数学的な表現によって説明することに課題がある。理科に関しては、学習に用いる器具についてその名称や使い方の知識に偏りがある。また、予想や仮説を基に実験・観察を行い、結果について検討したり考察したりする一連の流れの中で、複数の情報を関連付けて考えることに課題があると言える。

本調査が始まってからの本市の課題が、活用を支える「知識（基礎的、基本的な事項）の確実な習得、定着」であるとされたことを基に授業改善に取り組んできた結果、今年度成果として表れてきた部分と前述のように課題として示された部分がある。

これらの現状を踏まえ、昨年度と同様の視点を設けて改善策を話し合った。「1 授業改善について」は5つの視点から、「2 全校体制の取組について」は3つの視点から、さらに「3 家庭や地域と連携した取組について」の視点から、今後の仙北市立の各学校が現状を改善していくために共通理解の上で共通実践するべき方策を以下に示すこととする。

1 授業改善の視点から

(1) 育てたい力を明確にした授業構築

学習の主体者はあくまで児童生徒であること、授業においては児童生徒の持つ力をさらに伸ばしていくということを、教師は「コーディネーター」として明確に意識する必要がある。「育てたい力を明確にした授業」を構築していくために以下のことを、各学校において確認し、共通実践していく事柄として示すこととする。

- ①児童生徒の実態（身に付いている力、身に付けたい力）を正確に把握する。実態把握は、常時行い確認を繰り返す。
- ②ねらいと評価の整合性を明確にして単元の構想や授業のプランを立てる。
- ③単元のねらいを達成した児童生徒の姿をゴールとしてイメージし、その単元で学ぶことと学習の流れを教師と児童生徒が共有する。
- ④単元の計画がわかる教室掲示をしたりシートを配ったりして、本時が単元の中のどこの過程なのかを児童生徒が分かるようにする。
- ⑤「めあて」「まとめ」「振り返り」等の授業の流れを学校内で統一し、共通実践事項として位置付ける。

(2) 児童生徒の学習意欲を高めるために

児童生徒は「知りたい」「わかりたい」「できるようにになりたい」という願いをもっている。その願いが確実に学力を身に付けることにつながっていくためには、児童生徒自身が自ら考えたい、学習課題についてグループで話し合いたい、学級全体で意見を交換し合いたいという探究心をもち続けることが大切である。毎日の学習、ならびに充実した家庭学習を支えているのは児童生徒の高い学習意欲に他ならない。

児童生徒の学習意欲を高める方策を以下に示すこととする。

- ①学習のゴールが見えるようにする。単元あるいは一単位時間の授業において、児童生徒が何を学べばいいのか理解できるように工夫する。
- ②導入を大切にし、ワクワク感を引き出すように工夫する。
 - ・「なぜ？」という思いを引き出し、必要感のある課題を設定する。
 - ・学び方ややり方が理解できるような工夫をする。
 - ・既習事項や日常生活と関わらせて問題・課題をつかませるように工夫する。
- ③児童生徒の発言や考えを、教師や友達と認め合う場を大切にする。
- ④達成感もてる単元や授業を構築する。
- ⑤探求心をかき立てたり既習事項が確認できたりするように学習環境を整備する。

(3) 思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動の充実

思考力・判断力・表現力は、基礎的・基本的な知識・技能を「活用」して課題解決する際に必要とされる能力である。今求められている資質・能力の育成には、いわゆる「アクティブ・ラーニング」が重視されている。学習の主体者である児童生徒が学習過程の中で自ら問題を発見し課題解決に向かう力を、他者と協働する中で身に付けていくことをねらうものである。思考力・判断力・表現力等の育成に向け、言語活動の充実を軸とした指導方法の改善を期すために次の方策を示すこととする。

- ①授業での言語活動を日常化し、日常生活での言語活動の必要感と結び付ける。
- ②「内言（思考の道具として機能する言語）」と「外言（他者とのコミュニケーションの道具として機能する言語）」の特性を生かし、個人→小グループ→全体→個人という学習過程の中で、思考力・判断力・表現力を育成する。
- ③話し合いや学び合いを通して他者の考えと交流することにより、自分の考えがふくらんだり絞られたりして深まっていく経験を増やすようにする。
- ④各教科で使う言葉やツールを見えるところに掲示したり、カード等にして持たせたりして、書いたり話したりするときには使えるようにする。児童生徒自身がそれらを使うとよい、と理解し学習に役立てることができるようにする。
- ⑤複数の資料（情報）から考えを導き出す学習を意図的に増やしていく。
- ⑥各教科で学んだことが日常生活で役立てられるように、あるいは読書で学んだり知ったりすることが教科の学びの素養となるように、学習と生活の結び付きを大切にする。
- ⑦児童生徒の意欲を喚起する探求的な学習課題を取り入れる。

(4) 児童・生徒の「問い」を引き出し、その「問い」を生かした学習活動

秋田県が大きく掲げている“「問い」を発する子ども”を育成するために、読解力向上の取組と言語活動の充実との関連を図りながら学習活動に取り組む必要がある。

児童・生徒の「問い」を引き出し、その「問い」を生かした学習活動を構築するための方策を以下に示すこととする。

- ①児童生徒が「不思議だな?」「なぜそうなるのかな?」と思えるような題材・教材を準備したり会わせ方を工夫したりする。
- ②自然に問いを引き出せるように、視聴覚資料に触れたり体験を振り返らせたりする。

(5) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実

基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実を期して、その方策を以下に示すこととする。

- ①ドリルタイム等を設定し、計画的に活用する。細く長く継続する。ポイントを絞り、重点指導を繰り返す。
- ②基礎・基本の定着度合いを確認するための小チェックテストを定期的に（週1回、月1回）行い、その結果を児童生徒の称揚の材料にする。（技能に関わるパフォーマンステストを含む。）
- ③児童生徒に勉強・学習の仕方、学び方を身に付けさせる。学習ノート作成、活用の仕方、実物や複写で紹介する。
- ④授業では、T T（少人数、習熟度も含む）をねらいに沿って効果的に取り入れる。
- ⑤振り返りを生かして家庭学習につなぐようにする。
- ⑥必要に応じて発展的な内容のスキル学習にも対応できるように準備する。
- ⑦他教科とのつながりや9年間の系統的な学習の積み重ねをしっかりと把握した上で、児童生徒の実態を踏まえて、授業に臨む。

2 全校体制の取組の視点から

(1) 研修・研究の在り方等について

研修・研究に関しては全校的な共同研究体制の構築とその活用が肝要である。「共同研究」を念頭に置きつつ、研修・研究の在り方についての方策を以下に示すこととする。

- ①現在、各学校の実態に応じて体制づくりや研究計画、「確かな学力向上推進計画書」等が作成されている。PDCAサイクルに基づいて、常に見直し、改善を図っていく。
- ②全職員の共通理解のもと、研究計画が立てられ推進されている。各学級・各教科の取組の情報交換をさらに密にし、検証・改善していく。
- ③授業研究会を充実させていくことで、全体研修をさらに充実させていく。
- ④指導案作成・検討、研究授業演示・参観、授業研究会、授業研究の成果の反映までの全過程が共同研究であることを常に確認する。
- ⑤全国学力・学習状況調査問題と今求められている学力の関係を明らかにし、その学力向上に向けて

全校で取り組む組織体制づくりをする。中学校は教科担任の枠を越えて全校で取り組むべき問題であることを各教師が認識する。また、組織研究・共同研究であることを全教師が認識する。

⑥今年度共通して課題と挙げられることが、「話す・聞く・話し合う」ことである。上記のことを踏まえ、共通実践に取り入れていく

(2) 各校の重点的な取組について

仙北市立各学校で重点的に取り組んでいる方策は以下の通りである。

①秋田県の重点項目を学校の共通実践事項として実践につなげる。自校の研究の視点と秋田県の研究の視点を比較検討し、研究を推進する。

②目指す児童生徒の姿を具体的にイメージし、「話す・聞く・話し合う」「書く」「説明する」といった各学校の課題を改善していく。

(3) 小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

①仙北市の教育研究大会等の機会を利用して、小中の各教師が、お互いの授業を見合い、協議・研修する機会を増やす。特に、中学校は、小学校での丁寧かつ細やかな授業を参観し、9年間の系統性を意識するようにする。

②校務分掌ごとの小中の連携を密にし、児童生徒の実態等の具体例を踏まえながら研修を進める。

③全国学力・学習状況調査、秋田県学習状況調査等の学力調査結果を小中が共有し、9年間の系統的な指導の成果と課題を明らかにする。

④児童会・生徒会同士をつながりを持ち、家庭学習への取組等とともに取り組んでいくことができるものを「子どもサミット」で取り上げていく。

3 家庭や地域と連携した取組について

連携のための礎は相互理解である。仙北市、市教育委員会、各学校からの発信が家庭や地域と連携した取組を支えている。

家庭や地域と連携した取組の方策を以下に示すこととする。

①地域・家庭に対し、学校や教師の営みを発信するのみならず、秋田県「ふるさと学習」の実践の視点からも児童生徒が地域で活動・活躍する機会を多く設定する。児童生徒による地域貢献活動をさらに推進する。

②9年間を見通した「学びの手引き」を作成し、小中学校で児童生徒・家庭に配布する。家庭や地域に小中学校の営みが9年間の系統性を重視していること、小中学校が隔てなく児童生徒とともに活動していることを理解していただくようにする。

③「早寝・早起き・朝ご飯の奨励」「スマホ、PCの使い方」「ニュースや社会に関心をもつこと」等、家庭が取組の主体となることに、学校と保護者が同じスタンスで取り組めるように、学校報、学年・学級報等を活用して理解と協力体制を作っていく。

④子どもへの関わり方について、また、学校教育活動についての啓発活動を促進する。

2 学年・教科・区分・各設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについては、次の資料の活用を充実させる必要がある。

- 「平成27年度学校改善支援プラン」〈平成27年3月 秋田県検証改善委員会〉
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【小学校国語】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【小学校算数】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【小学校理科】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【中学校国語】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【中学校数学】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【中学校理科】報告書」
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査【質問紙調査】報告書」
〈平成27年8月 文部科学省 国立教育政策研究所〉
- 「平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」
【小学校国語・算数・理科】
【中学校国語・数学・理科】
〈平成27年9月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ
～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～」
【小学校編】 〈平成24年9月 文部科学省
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
【中学校編】 〈平成24年9月 文部科学省
国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」
【小学校版】 〈平成22年12月 文部科学省〉
【中学校版】 〈平成23年 5月 文部科学省〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校・各教科）」
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉

3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

1 地域の人材活用と財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

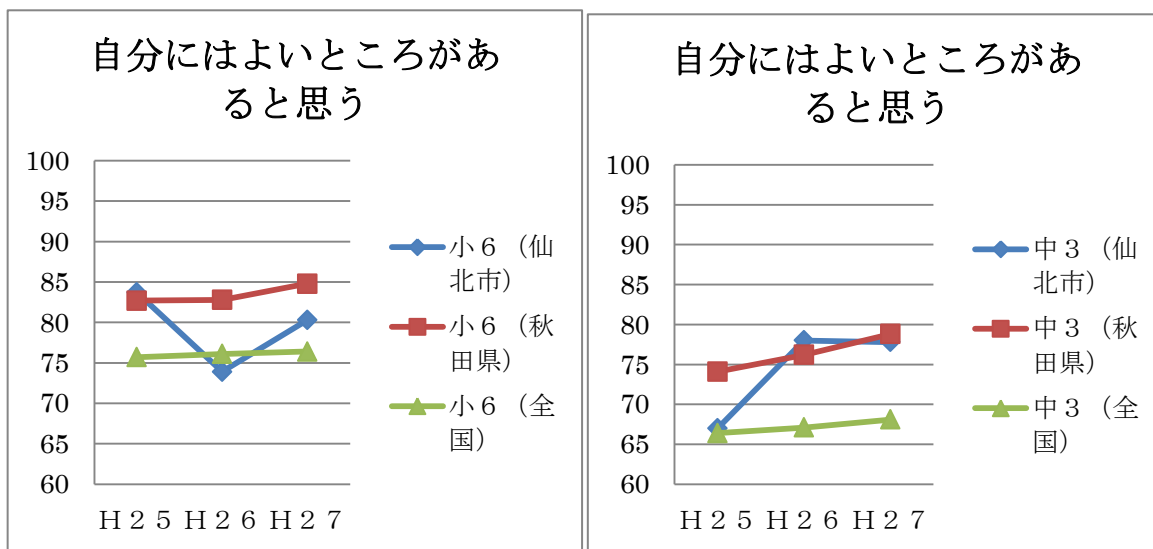
また、平成25年度からは、各学校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も実施している。平成26年8月には「キャリア教育の視点を重視したふるさと教育」指導資料として冊子「ふるさと仙北学」を発行、各校に配布した。今年度増刷予定であるので、各学校にさらに配布できる予定である。ふるさと教育を基盤とした取組の充実が児童・生徒の生きる力、地域社会における自己有用感の育成につながるよう働きかけていく。

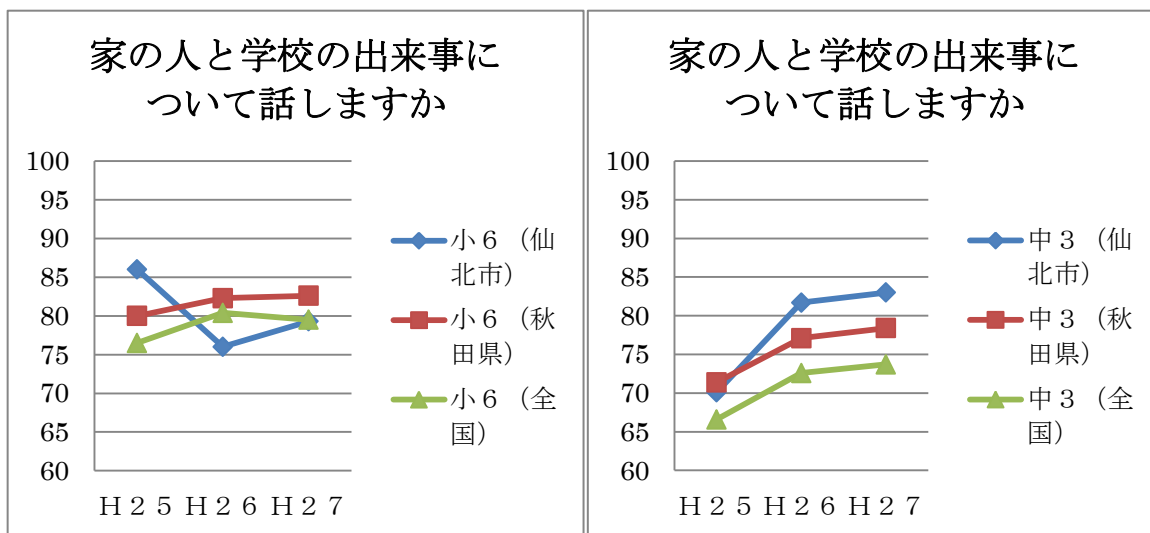
2 北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記IV-2の各種資料については、各学校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

4 学校・家庭・地域の一層の連携

下に直近3年間の経年変化を表した4葉のグラフを示す。





上のグラフは質問紙から、「自己有用感」について問われたものであり、下のグラフは「家庭内における児童生徒の会話の状況」について問われたものである（左が児童質問紙によるグラフ、右は生徒質問紙によるグラフ）。

児童・生徒のグラフを各々上下で比較すると、その変化が近似の形を持ったグラフとなっていることが読み取れる。自己有用感と家庭内での会話の間には相応の関係があると考えられる。

確かな学力の向上のためには、児童生徒が安心して自己有用感を育める環境が必要であると考えられる。また、「基本的生活習慣」や「基本的学習習慣」の基盤の上に「学びのサイクルの習慣化」が必要である。「学びのサイクルの習慣化」とは、授業を核として、授業日の家庭学習や長期休業中の学習、学校の始業前や放課後の学習が有機的に結び付けられ、関連し合って児童生徒の学びが習慣化されていくことである。そのためには、学校・家庭・地域が「目標・ねらい」を一つにした一層の連携が必要である。

家庭では子どもの基本的生活習慣や学習習慣などに関心を持ち、子どものよき成長を願い、学校と協力して家庭教育を充実させていこうとする姿勢が望まれる。放課後におけるスポ少活動や部活動との関係もあるが、児童生徒が就寝までの限られた時間の中で、家族の一員としての役割を果たし、家族とのコミュニケーションを意義あるものにしながら学習時間を確保できるようにしたいものである。

仙北市の子どもたちが地域に対する愛着が深く、地域生活において多くの望ましい傾向がみられることは、地域住民の支えが大きく影響していると考えられる。この点からも、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深めることが重要であると考えられる。

V 参考資料等

資料 1

「全国学力・学習状況調査」結果取扱要綱

平成19年12月20日
教育委員会告示第19号

最終改正 平成26年11月教育委員会告示第25号

(目的)

第1条 この要項は、文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」（以下「本調査」という。）の仙北市及び仙北市立小・中学校の調査結果について文部科学省から提供される情報（以下「結果」という。）の取扱について必要な事項を定めることを目的とする。

(結果の公表)

第2条 仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

(結果の公表の内容)

第3条 文部科学省が市町村教育委員会に提供する結果の資料(別表1)について、公表に係る取扱は次の通りとする。

- (1) 「1」の公表については、国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」の関係についても併せて公表する。平均正答率の比較以外の結果は公表しない。
- (2) 「2」の公表については、「学習指導要領の領域別」「評価の観点別」「問題形式別」に国及び県の平均正答率と比較して(別表2)の「階層区分」によりそれぞれの比較結果を(別表2)の「表現」に基づいて公表する。「階層区分」と「表現」

の関係についても併せて公表する。各設問ごとの結果の比較は公表しない。

- (3)「別表1」の「3」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (4)「別表1」の「4」については、公表する。
- (5)「別表1」の「5」については、仙北市全体の特に顕著な傾向を示すものについて公表する。
- (6)「別表1」の「6」～「8」は公表しない。

(改善策の立案)

第4条 結果を受けた改善策は仙北市教育委員会北浦教育文化研究所「研究主任部会」及び「算数・数学学習指導研究委員会」、「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1)主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2)主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3)改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4)その他

(結果の公表の方法)

第5条 第3条に示す公表の内容及び第4条に示す改善策は、仙北市教育委員会北浦教育文化研究所において、改善策の策定後すみやかに報告書を作成し公表する。

(情報公開)

第6条 仙北市情報公開条例第7条6号を根拠として第3条に示す公表内容以外の情報は不開示情報とする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附則

この告示は、平成19年12月20日から施行する。

附則

この告示は、平成26年11月28日から施行する。

(別表1) 「文部科学省が市町村教育委員会に提供する資料」 (第3条関係)

	内 容	備 考
1	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果概況	(1)棒グラフ(正答数別児童生徒の割合) (2)数値(正答数別の児童生徒数、平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差)
2	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	(1)表(「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の平均正答率) (2)表(設問ごとの「学習指導要領の領域別」、「評価の観点別」、「問題形式別」の正答率、無回答率)
3	各市町村域内の公立学校全体の質問紙調査の回答状況	(1)表(児童生徒質問紙の各質問の選択し別の児童生徒数、割合)(選択肢別の学校数、選択肢別の学校数の割合) (2)棒グラフ(各質問の選択肢別の児童の割合)(選択肢別の学校の割合)
4	各市町村が設置管理する学校の参加概況等	
5	各市町村域内の公立学校全体の各教科区分別の調査結果と児童生徒質問紙調査の結果のクロス集計表	(1)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数) (2)表(各質問について*四分位層ごとに選択肢別の児童生徒数の割合)
6	各学校の各教科区分別の調査結果概況	各学校に提供される情報
7	各学校の各教科区分別の設問別調査結果・解答類型別調査結果	各学校に提供される情報
8	各学校の各児童生徒の各教科の調査・児童生徒質問紙への解答(回答)状況	各学校に提供される情報

「*四分位層」…成績の上位から25%のきざみで4つのグループに分け相関の度合いを示す

(別表2) 「(別表1)の1及び2の公表に係る階層区分と表現」 (第3条関係)

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

資料 2	平成27年度 仙北市「全国学力・学習状況調査」結果分析・改善委員会名簿		
	委員氏名	備考	
1	高橋 ひろみ	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(角館小学校)
2	高橋 郁子	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(中川小学校)
3	佐々木 玲子	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(白岩小学校)
4	鈴木 真紀子	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(生保内小学校)
5	小山 千晶	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(神代小学校)
6	草薨 真智子	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(西明寺小学校)
7	木 村 聡	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(桧木内小学校)
8	山口 晃正	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(角館中学校)
9	佐藤 公則	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(生保内中学校)
10	佐藤 義紀	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(神代中学校)
11	新田 目雅行	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(西明寺中学校)
12	須田 真里	北浦教育文化研究所	国語学習指導研究委員(桧木内中学校)
13	富樫 耕悦	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(角館小学校)
14	伊藤 渉	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(中川小学校)
15	草薨 裕子	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(白岩小学校)
16	草薨 智	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(生保内小学校)
17	伊藤 優	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(神代小学校)
18	柳 田 健	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(西明寺小学校)
19	草薨 美由喜	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(桧木内小学校)
20	山 崎 洋	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(角館中学校)
21	武藤 洋史	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(生保内中学校)
22	齋藤 明	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(神代中学校)
23	阿部 匠	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(西明寺中学校)
24	高橋 範幸	北浦教育文化研究所	算数・数学学習指導研究委員(桧木内中学校)
25	福田 和也	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(角館小学校)
26	進藤 孝宏	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(中川小学校)
27	佐藤 晋	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(白岩小学校)
28	藤原 薫	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(生保内小学校)
29	大澤 ハルミ	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(神代小学校)
30	伊藤 昭光	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(西明寺小学校)
31	松崎 るり子	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(桧木内小学校)
32	福田 裕司	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(角館中学校)
33	渋谷 聡	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(生保内中学校)
34	荒川 遼	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(神代中学校)
35	松本 道男	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(西明寺中学校)
36	田口 隆文	北浦教育文化研究所	理科学習指導研究委員(桧木内中学校)
37	佐藤 真理子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(角館小学校)
38	高橋 郁子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(中川小学校)
39	田口 優子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(白岩小学校)
40	伊藤 里実	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(生保内小学校)
41	木元 俊子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(神代小学校)
42	草薨 真智子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(西明寺小学校)
43	松崎 るり子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(桧木内小学校)
44	大河 見一	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(角館中学校)
45	武藤 洋史	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(生保内中学校)
46	新山 滴	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(神代中学校)
47	松本 道男	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(西明寺中学校)
48	草薨 恵美子	北浦教育文化研究所	研究主任部会研究委員(桧木内中学校)
49	浦山 英一郎	北浦教育文化研究所	研究委員
50	米澤 孝子	北浦教育文化研究所	研究委員
51	鈴木 徹	北浦教育文化研究所	研究委員